

年賀状

赤谷慶子

欧米にはキリスト降誕を祝ふクリスマスカードを年に一度郵送するが常なり。

従来日の本には年賀状を送る習慣あれども、年来メール等SNSを用ゐたる「年賀状」主流となり、郵便局の年賀葉書の売れ行き、激減しつつありとぞ巷には言はるる。

加へて高齢化に伴ひ、年賀状を送らぬ選択する人々の増えたるが如し。

然り。年賀状を送るはその手間一方ならぬものあり。発送一覽なるものと照合しつつ、昨年もらひし人にはゆめ忘るるなかれ、喪中の人どもにはな送りそ等、その面倒出だし終れば疲弊甚だしきものあり。

然れども年賀状届かずば友人、知人の安否の不安此の上なし。

日ごろは「喪中」の知らせ多く、常は両親、もしくは祖父母または連れ合ひの逝去したるには通知出さずんばあらずといへども、叔父叔母いとこなど、親等遠き縁者ならば喪中の知らせいだすべしや否や、皆目五里霧中といふべし。

厄介なる作業なれども、我が命ある限りは、年賀葉書は出だし續くるの外なかるべしにあらざや。年賀状來らざればその身上如何ならむと懸念せらるればなり。

(令和八年一月三日受附)